

救急救命士向けの病院前周産期救急対応講習の開催

事業の概要 群馬県内の母体・新生児救急体制の充実に向け、救急救命士に病院前周産期救急対応・新生児蘇生法を取得してもらうことを目的とした講習会である。本講習会は令和4年に策定し、本年度で4回目の開催となる。本講習会をより多くの対象者に提供し、群馬県の周産期医療の更なる充実を目指す。

受講対象者 群馬県内の救急救命士、消防職員

研修内容 群馬県の周産期・救急搬送事情に関する講義、周産期に纏わる基本手技の習得、新生児蘇生法の習得、産婦人科救急疾患や分娩切迫事案の搬送訓練、救急車内分娩の体験 など

研修予定日時 2026年1月24日・25日 9時～17時 2日間開催を予定

会場 群馬大学医学部附属病院

講師 県内の産婦人科医/助産師・看護師、救急医/救急救命士、小児科医

<コーススケジュール>

9時	コース開始	
9時10分	群馬県の周産期事情、救急事情	講義
9時40分	救急要請訓練	ワーク
10時	分娩介助、分娩後の処置、 気をつけるべき状態	実技
11時	搬送決定訓練	ワーク
12時	休憩	
13時	NCPR Pコース開始	
13時	プレテスト開始	
13時5分	講義	講義
13時45分	基本手技の実演	実技
14時35分	休憩	
14時40分	ケースシナリオの実演	実技
15時40分	ポストテスト	
15時55分	NCPR Pコース終了	
16時	救急車内分娩	
16時45分	closing	実技
17時	終了	

午後は新生児蘇生法病院前コース(Pコース)であり、日本周産期新生児学会公認

<群馬県がかかえる周産期医療の問題点>

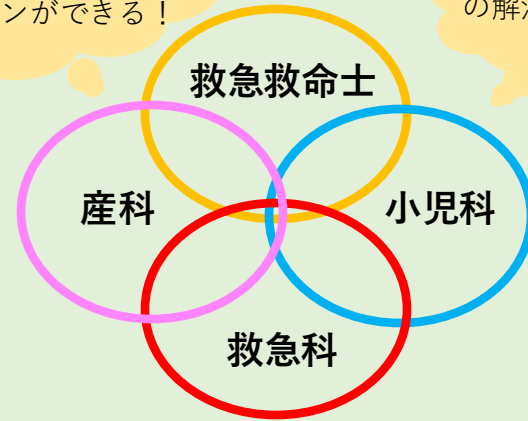
母体合併症と超早産を同時に管理できる施設が存在しない
分娩施設ごとの母体疾患への対応能力に差がある

→どこに搬送すべき？搬送距離が遠く、救急車内分娩のリスクも！

病院前周産期救急対応コース

実際にあった症例をもとに、全職種で様々なディスカッションができる！

日々の活動で生じる疑問の解消につながる！



連携の輪の構築

事業のイメージ図



最終目標

救急救命士の安心・安全な職務遂行
群馬県民の母児の安全を守る